

第 10 章 予測計算等に係る資料

10.1 騒音の予測に係る資料

10.1.1 「ASJ RTN-Model 2013」による道路交通騒音 (L_{Aeq}) の予測計算例

準備書（「第 12 章 12.1 騒音 12.2.1 自動車の走行に係る騒音」(P12.2-1)）に示した（社）日本音響学会の「ASJ RSJ-Model 2013」による道路交通騒音の予測について、「6. 伊那市原新田」における遮音壁の設置有無に関する等価騒音レベルの計算例として、音源及び受音点の座標を表 10.1-1 に、予測条件を表 10.1-2 表 10.1-2 及び表 10.1-3 に、予測結果を表 10.1-4 (P10.1-2) に示す。なお、ここでは計算例として代表断面の数値のみを示す。

表 10.1-1 音源及び受音点の座標例(6.伊那市原新田)

[単位：m]

遮音壁の有無	音源				受音点			
	X 座標	Y 座標	Z 座標	ユニット 間隔	X 座標	Y 座標	Z 座標	地盤 高さ
遮音壁なし	-46265.0	-19977.2	695.0	10.0	-46232.5	-19975.2	4.2	694.2
遮音壁あり	-46265.0	-19977.2	695.0	10.0	-46232.5	-19975.2	4.2	694.2

※ 代表断面の数値を示す。

表 10.1-2 自動車の走行騒音予測条件例その1(6.伊那市原新田)

遮音壁の有無	走行速度 (km/h)	大型車類 パワー レベル (dB)	伝搬距離 (m)	距離減衰量 (dB)	回折距離 (m)	行路差 σ (m)
遮音壁なし	60.0	106.5	32.76	30.3	-	-
遮音壁あり	60.0	106.5	32.76	30.3	32.81	0.058

※ 代表断面の数値を示す。

表 10.1-3 自動車の走行騒音予測条件例その1(6.伊那市原新田)

遮音壁の有無	回折減音量 (dB)	地表面減衰量 (dB)	縦断勾配 (%)	縦断勾配補正值 (dB)
遮音壁なし	0.0	0	-0.3	0
遮音壁あり	8.2	0	-0.3	0

※ 代表断面の数値を示す。

表 10.1-4 自動車の走行騒音予測結果例(6.伊那市原新田)

遮音壁の有無	音源 i からの騒音レベル LA, I (dB)	音源 i の単発暴露騒音レベル LAE (dB)	大型車類 (台/時)	小型車類 (台/時)	等価騒音レベル LAeq (dB)
遮音壁なし	68.2	66.0	584	56	65
遮音壁あり	60.0	57.8	584	56	62

※ 代表断面の数値を示す。